

報告事項に関する資料

1. 令和6年度

第1回おおさか農政アクションプラン評価・点検部会について

2. 地域計画の取組状況と今後の取組みについて

◆おおさか農政アクションプラン進捗管理シート（R4～）

【評価】◎超過達成 ○達成・概ね達成（8割目安） ▲未達成

資料1

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ●農業産出額の増加 227億円（R4）⇒250億円（R8）

施策項目	令和4年度評価	令和5年度			これまでの進捗
5年後の目標	評価（実績/目標）	【目標】	【実績】	評価	累計実績
（1）意欲の高い農業者の経営改善支援 育成対象農業者約150名の販売額向上30%（+6億円）	◎ 経営強化農業者 116名（+1.4億円）/100 名（+1.2億円）	経営強化農業者 100名（+1.2億円） 対象を明確化した重点的指導の実施（100 名） ・経営コンサルタントの派遣 ・普及指導員による個別指導	経営強化農業者129名（+1.6億円）	◎	経営強化農業者 129名（+2.9億円）
（2）新規就農者・企業の確保育成 新規就農者70名の確保と生産力強化（+3億円）	就農者数◎ 金額▲ 新規就農者 13名（+0.04億円）/10名 （+0.4億円）	新規就農者 10名（+0.4億円） 市町村等と連携した新規就農者・企業の確 保育成対策の実施 ・大阪産スタートアカデミーの 実施（いちご、有機農産物等） ・R6年度からのスタートアカデミーの実施 に向けた市町村等との調整 ・確保すべき新規就農者営農モデルの作成 ・地域計画の策定支援	新規就農者 12名（+0.13億円）	就農 者数 ◎ 金額 ▲	新規就農者 25名（+0.45億円）
新規参入企業30社の確保と生産力強化（+4億円）	▲ 新規参入企業 2社（+0億円） /3社（+0.4億円）	新規参入企業 6社（+0.8億円） ・企業参入フェア（国主催）へ の出展と大阪府みどり公社と の連携した企業参入セミナー 開催による誘致活動 ・地域計画の策定支援	新規参入企業 2社（+0.15億円）	▲	新規参入企業 5社（+0.15億円）

施策項目	令和4年度評価	令和5年度			これまでの進捗
5年後の目標	評価（実績/目標）	【目標】	【実績】	評価	累計実績
(3) マーケットインの発想による重点品目の生産振興 各地域で取り組む重点プロジェクト (大阪産(もん)グローアッププランの目標達成) 10.8億円 ⇒ 15.3億円	◎ 目標金額 +1.3億円/+0.7億円	目標金額 +0.8億(計1.5億) ・スマート農業をはじめとする 栽培技術向上支援(20名) ・新規栽培者の確保(10名) ・販売促進に向けた販売店等への 働きかけ・PR(5件)	目標金額 +1.8億	◎	目標金額 +1.8億
(4) 成長と持続を支える生産基盤の整備 農地集積集約を目的とした基盤整備の面積 56ha	▲ 面積 +5.7ha/+13.0ha	面積 +11.1ha(計+24.1ha) 地域営農組織や参入法人等の 営農計画に応じた農地の集積、集約化を進 める生産基盤整備 (伏見堂地区 11.1ha)	面積 +12.3ha	◎	面積 +18.0ha
(5) スマート技術導入の推進 スマート農業技術を導入する農業者 180名 (令和3年度末現在95名)	◎ 農業者 26名/15名	農業者 15名 ・施設環境整備機器の整備(大阪版認定農 業者支援事業、国事業、DIY等)(10名) ・省力化機器の導入支援(ドローン・自走 式草刈機、アシストスーツ等、大阪版認定 農業者支援事業等)(5名) ・栽培環境見える化による高収益化(デー タ駆動型農業)実証 3品目(水なす、ぶどう、いちご) ・スマート機器・サービス関連企業と農業 者のマッチング 5件	農業者17名	◎	農業者 43名
総評	新規就農者・企業の確保育成については目標達成に至らなかったが、それ以外の項目については目標達成となった。 未達成の項目については、地域計画から得た各地域の農地情報を参入希望企業に提供するなど取組みを強化し目標達 成を目指すとともに、達成項目についても各項目の成果分析を行い、生産性や収益性の把握に努め、広く普及してい く。				

【くらし】豊かな食や農に接する機会の充実 ●大阪産（もん）を日常的に購入している人の割合 5 割以上

施策項目	令和4年度評価	令和5年度			これまでの進捗
5年後の目標	評価（実績/目標）	【目標】	【実績】	評価	累計実績
（1）大阪産(もん)購入拠点の充実 大阪産（もん）ロゴマークの申請登録者数 958件⇒1,200件	◎ 登録者数 295者/60者	登録者数 60者 PRイベントの開催 SNS等による情報発信	登録者数 162者	◎	登録者数 457者
（2）食と農の連携による大阪産(もん)の魅力向上 農業者と事業者のマッチング数 1,500件（R4-R8累計）	◎ マッチング数 739件/380件	マッチング数 380件 農業者と食品事業者等の商談機会の確保	マッチング数 549件 名刺交換件数477件+人材育成研修72件 = 549件（うち商談件数234件）	◎	マッチング数 1,288件
（3）脱炭素社会に貢献する農業生産	本項目においては成果指標を設定していない。				
		<参考> 環境負荷低減事業活動の目標 ※基本計画より ・有機農業取組面積：0.6%（74ha） ・有機農業に取組む新規就農者割合：25%（15人） ・有機農業栽培マニュアルの作成：5品目 ・Osaka Agreen Action/パートナーズ数：100団体 ・Osaka Agreen Action実施箇所数：300箇所	0.3%（33ha） 6.7%（3人） 1品目 30団体 67箇所		
総評	今年度も積極的な働きかけにより、全ての目標を超過達成することができた。 引き続き目標達成に向け取組むとともに、カーボンフットプリント(CFP)や有機農業といった脱炭素社会に貢献する取組みについても推進していく。				

【地域】 農業・農空間を活かした新たな価値創造 ● 農に関わる人の数 100万人以上

施策項目	令和4年度評価	令和5年度			これまでの進捗
5年後の目標	評価（実績/目標）	【目標】	【実績】	評価	累計実績
（1）農業・農空間と府民をつなぐ機会の充実	本項目においては成果指標を設定していない。				
（2）農を活かした地域づくりの推進 農空間づくり協議会の増加 31（R3）⇒71（R8）	▲ 協議会設立 4地区/8地区	協議会設立 8地区 ●R5,6年は農業経営強化促進法改正による市町村の地域計画策定支援を優先。 ※なお、策定過程で地域計画実現に向け、協議会設立が必要な地区については、個々に対応。 また、令和7年以降の取組地区についても、整理し協議会設立を働きかけ、次年度以降に備える。	協議会設立 3地区		協議会設立 7地区
（3）農を知り、農に参画する機会の充実 農空間づくりに参加する府民の増加 49,500人（H30）⇒62,000人（R8）	▲ 府民参加 26,319人/52,000人	府民参加 54,500人 （+2,500人 計+5,000人） 府有施設（花文・農業公園）の活用による 機会創出 民間活力を活かした機会提供 情報発信の強化	府民参加 43,468人（前年度+17,149人） （参考：R3 27,307人、R4 26,319人）	○	府民参加 43,468人 （目標-11,032人）
総評	次年度も地域計画の策定に重点的に取組み、今後の施策二一ズの把握に努めていく。 [（3）農を知り、農に参画する機会の充実]については目標の8割程度の実績となったものの、前年度と比べ府民参加に増加傾向がみられることから、引き続き農空間の魅力発信に努め、府民参加を促していく。				

取り組み施策（5年後の成果指標）		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度	
【しごと】力強い大阪農業の実現 ●農業産出額の増加 2 2 7 億円（R3）⇒ 2 5 0 億円（R8）										【最終評価】 ・農業産出額(生産農業所得統計)による評価 ・積み上げによる評価	
※評価はしないが、実績は別紙に基づき毎年把握		※評価はしないが、実績は別紙に基づき毎年把握		※評価はしないが、実績は別紙に基づき毎年把握		※評価はしないが、実績は別紙に基づき毎年把握		※評価はしないが、実績は別紙に基づき毎年把握		※評価はしないが、実績は別紙に基づき毎年把握	
年度目標		【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】
（1）意欲の高い農業者の経営改善支援 育成対象農業者約 1 5 0 名の販売額向上 30%（＋6 億円）		経営強化農業者 100名(＋1.2億円)		経営強化農業者 100名(＋1.2億円)		経営強化農業者 100名(＋1.2億円)		経営強化農業者 100名(＋1.2億円)		経営強化農業者 100名(＋1.2億円)	
		対象を明確化した重点的指導の実施（100名） ・経営コンサルタントの派遣 ・普及指導員による個別指導		対象を明確化した重点的指導の実施（100名） ・経営コンサルタントの派遣 ・普及指導員による個別指導		対象を明確化した重点的指導の実施（100名） ・経営コンサルタントの派遣 ・普及指導員による個別指導		対象を明確化した重点的指導の実施（100名） ・経営コンサルタントの派遣 ・普及指導員による個別指導		対象を明確化した重点的指導の実施（100名） ・経営コンサルタントの派遣 ・普及指導員による個別指導	
（2）新規就農者・企業の確保育成 新規就農者70名の確保と生産力強化（＋3 億円）		新規就農者 10名(＋0.4億円)		新規就農者 10名(＋0.4億円)		新規就農者 10名(＋0.5億円)		新規就農者 20名(＋0.8億円)		新規就農者 20名(＋0.9億円)	
		市町村等と連携した新規就農者・企業の確保育成対策の実施 ・地域計画の策定支援 ・大阪産スタートアカデミーの実施（いちご、有機農産物）		市町村等と連携した新規就農者・企業の確保育成対策の実施 ・地域計画の策定支援 ・大阪産スタートアカデミーの実施（いちご、有機農産物等） ・R6年度からのスタートアカデミーの実施に向けた市町村等との調整 ・確保すべき新規就農者営農モデルの作成		市町村等と連携した新規就農者・企業の確保育成対策の実施 ・地域計画の策定支援 ・地域版スタートアカデミー（仮称）の実施 ・確保すべき新規就農者営農モデルの作成		市町村等と連携した新規就農者・企業の確保育成対策の実施 ・地域版スタートアカデミー（仮称）の実施		市町村等と連携した新規就農者・企業の確保育成対策の実施 ・地域版スタートアカデミー（仮称）の実施	
新規参入企業30社の確保と生産力強化（＋4 億円）		新規参入企業 3社(＋0.4億円)		新規参入企業 6社(＋0.8億円)		新規参入企業 7社(＋0.9億円)		新規参入企業 7社(＋0.9億円)		新規参入企業 7社(＋1 億円)	
		・地域計画の策定支援 ・企業参入フェア（国主催）への出展と大阪府みどり公社との連携した企業参入セミナー開催による誘致活動		・地域計画の策定支援 ・企業参入フェア（国主催）への出展と大阪府みどり公社との連携した企業参入セミナー開催による誘致活動		・地域計画の策定支援 ・企業参入フェア（国主催）への出展と大阪府みどり公社との連携した企業参入セミナー開催による誘致活動		・企業参入フェア（国主催）への出展と大阪府みどり公社との連携した企業参入セミナー開催による誘致活動 ・市町村と連携した企業参入に積極的な地域への誘致		・企業参入フェア（国主催）への出展と大阪府みどり公社との連携した企業参入セミナー開催による誘致活動 ・市町村と連携した企業参入に積極的な地域への誘致	
（3）マーケットインの発想による重点品目の生産振興 各地域で取り組む重点プロジェクト (大阪産(もん)グループアッププランの目標達成) 10.8億円 ⇒ 15.3億円		目標金額 +0.7億		目標金額 +0.8億 (計 1.5億)		目標金額 +1.0億 (計 2.5億)		目標金額 +1.0億 (計 3.5億)		目標金額 +1.0億 (計 4.5億)	
		・スマート農業をはじめとする栽培技術向上支援（20名） ・新規栽培者の確保（10名） ・販売促進に向けた販売店等への働きかけ・PR（5件）		・スマート農業をはじめとする栽培技術向上支援（20名） ・新規栽培者の確保（10名） ・販売促進に向けた販売店等への働きかけ・PR（5件）		・スマート農業をはじめとする栽培技術向上支援（20名） ・新規栽培者の確保（10名） ・販売促進に向けた販売店（万博関係含む）等への働きかけ・PR（10件）		・スマート農業をはじめとする栽培技術向上支援（20名） ・新規栽培者の確保（10名） ・販売促進に向けた販売店（万博関係含む）等への働きかけ・PR（10件）		・スマート農業をはじめとする栽培技術向上支援（20名） ・新規栽培者の確保（10名） ・販売促進に向けた販売店等への働きかけ・PR（10件）	
（4）成長と持続を支える生産基盤の整備 農地集積集約を目的とした基盤整備の面積 56ha		面積 +13.0ha 岸和田丘陵地区 13.0ha		面積 +11.1ha (計 +24.1ha) 伏見望地区 11.1ha		面積 +16.8ha (計 +40.9ha) 牧地区 16.8ha		面積 +9.2ha (計 +50.1ha) 高山地区 9.2ha		面積 +6.0ha (計 +56.1ha) 加納・寺田地区 6.0ha	
（5）スマート技術導入の推進 スマート農業技術を導入する農業者 180名 (令和 3 年度末現在95名)		農業者 15名 10名 5名		農業者 15名 10名 5名		農業者 15名 10名 5名		農業者 20名 15名 5名		農業者 20名 15名 5名	
		・施設環境整備機器の整備（大阪版認定農業者支援事業、国事業、DIY等） ・省力化機器の導入支援（ドローン・自走式草刈機、アシストスーツ等、大阪版認定農業者支援事業等） ・栽培環境見える化による高収益化（データ駆動型農業）実証 3 品目（水なす、ぶどう、いちご） ・スマート機器・サービス関連企業と農業者のマッチング 5件		・施設環境整備機器の整備（大阪版認定農業者支援事業、国事業、DIY等） ・省力化機器の導入支援（ドローン・自走式草刈機、アシストスーツ等、大阪版認定農業者支援事業等） ・栽培環境見える化による高収益化（データ駆動型農業）実証 3 品目（水なす、ぶどう、いちご） ・スマート機器・サービス関連企業と農業者のマッチング 5件		・施設環境整備機器の整備（大阪版認定農業者支援事業、国事業、DIY等） ・省力化機器の導入支援（ドローン・自走式草刈機、アシストスーツ等、大阪版認定農業者支援事業等） ・栽培環境見える化による高収益化（データ駆動型農業）実証 3 品目（水なす、ぶどう、いちご） ・スマート機器・サービス関連企業と農業者のマッチング 5件		・施設環境整備機器の整備（大阪版認定農業者支援事業、国事業、DIY等） ・省力化機器の導入支援（ドローン・自走式草刈機、アシストスーツ等、大阪版認定農業者支援事業等） ・栽培環境見える化による高収益化（データ駆動型農業）実証 3 品目（水なす、ぶどう、いちご） ・スマート機器・サービス関連企業と農業者のマッチング 5件		・施設環境整備機器の整備（大阪版認定農業者支援事業、国事業、DIY等） ・省力化機器の導入支援（ドローン・自走式草刈機、アシストスーツ等、大阪版認定農業者支援事業等） ・IoTを活用した熟練者栽培管理の支援技術普及（環境、気象、出荷等のデータを集集・分析し、見える化） 3 品目（水なす、ぶどう、いちご） ・スマート機器・サービス関連企業と農業者のマッチング 5件	

【くらし】豊かな食や農に接する機会の充実 ●大阪産(もん)を日常的に購入している人の割合5割以上	【現状把握】 ・アンケートを実施し、大阪産（もん）を日常的に購入している人は現状41％の結果				【中間評価】 ・アンケートの実施				【最終評価】 ・アンケートの実施	
年度目標	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】
(1) 大阪産(もん)購入拠点の充実 大阪産（もん）ロゴマークの申請登録者数 958件⇒1,200件	PRイベントの開催 SNS等による情報発信	登録者数 60名	PRイベントの開催 SNS等による情報発信	登録者数 60名	PRイベントの開催 SNS等による情報発信	登録者数 60名	PRイベントの開催 SNS等による情報発信	登録者数 30名	PRイベントの開催 SNS等による情報発信	登録者数 30名
(2) 食と農の連携による大阪産(もん)の魅力向上 農業者と事業者のマッチング数 1,500件（R4-R8累計）	農業者と食品事業者等の商談 機会の確保	マッチング数 380件	農業者と食品事業者等の商談 機会の確保	マッチング数 380件	農業者と食品事業者等の商談 機会の確保	マッチング数 380件	農業者と食品事業者等の商談 機会の確保	マッチング数 200件	農業者と食品事業者等の商談 機会の確保	マッチング数 200件
(3) 脱炭素社会に貢献する農業生産	Osaka AGreen Actionを通じた意識啓発（イベント5件） 取組み協力事業者のリスト化。HP、SNSの開設、発信 有機農業の取組推進（推進方針の策定、アカデミーの実施5名）	※設定無し	Osaka AGreen Actionを通じた意識啓発（イベント5件） 取組み協力事業者リストの充実。HP、SNSでの発信 有機農業の取組推進（アカデミーの実施5名）	※設定無し	Osaka AGreen Actionを通じた意識啓発（イベント5件） 取組み協力事業者リストの充実。HP、SNSの内容充実 有機農業の取組推進（アカデミーの実施5名）	※設定無し	Osaka AGreen Actionを通じた意識啓発（イベント5件） HP、SNSでの情報発信強化 有機農業の取組推進（アカデミーの実施5名）	※設定無し	Osaka AGreen Actionを通じた意識啓発（イベント5件） HP、SNSでの情報発信強化 有機農業の取組推進（アカデミーの実施5名）	※設定無し
【地域】農業・農空間を活かした新たな価値創造 ●農に関わる人の数 100万人以上	【現状把握】 ・アンケートを実施し、農に関わる人は現状12％の結果 → 878万人×12％=105万人				【中間評価】 ・アンケートの実施				【最終評価】 ・アンケートの実施	
年度目標	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】	【行動目標】	【成果目標】
(1) 農業・農空間と府民をつなぐ機会の充実	府民を受け入れる活動団体の支援 参加機会に関する情報発信強化 活動団体と府民の交流機会の充実	※設定無し	府民を受け入れる活動団体の支援 参加機会に関する情報発信強化 活動団体と府民の交流機会の充実 受入れ可能団体の発掘 発信内容の充実・強化 都心部でライフスタイル発信拠点設置	※設定無し	府民を受け入れる活動団体の支援 参加機会に関する情報発信強化 活動団体と府民の交流機会の充実 受入れ可能団体の拡大 発信内容の充実	※設定無し	府民を受け入れる活動団体の支援 参加機会に関する情報発信強化 活動団体と府民の交流機会の充実 受入れ可能団体の拡大 発信内容の充実	※設定無し	府民を受け入れる活動団体の支援 参加機会に関する情報発信強化 活動団体と府民の交流機会の充実 受入れ可能団体の拡大 発信内容の充実	※設定無し
(2) 農を活かした地域づくりの推進 農空間づくり協議会の増加 31（R3）⇒71（R8）	モデル地区：4地区の決定 推進方針の決定 各事務所と体制づくり	協議会設立 8地区	●R5,6年は農業経営強化促進法改正による市町村の地域計画策定支援を優先。 ※なお、策定過程で地域計画実現に向け、協議会設立が必要な地区については、個々に対応。 また、令和7年以降の取組地区についても、整理し協議会設立を働きかけ、次年度以降に備える。			協議会設立 8地区	地域での課題解決策が定まった地区から協議会を設立 農空間づくりプランの策定支援 プラン実現の取組支援	協議会設立 20地区	地域での課題解決策が定まった地区から協議会を設立 農空間づくりプランの策定支援 プラン実現の取組支援	協議会設立 8地区
(3) 農を知り、農に参画する機会の充実 農空間づくりに参加する府民の増加 49,500人（H30）⇒62,000人（R8）	府有施設（花文・農業公園）の活用による機会創出 民間活力を活かした機会提供 情報発信の強化	府民参加 2,500人	府有施設（花文・農業公園）の活用による機会創出 民間活力を活かした機会提供 情報発信の強化	府民参加 2,500人 (計 5,000人)	府有施設（花文・農業公園）の活用による機会創出 民間活力を活かした機会提供 情報発信の強化	府民参加 2,500人 (計 7,500人)	府有施設（花文・農業公園）の活用による機会創出 民間活力を活かした機会提供 情報発信の強化	府民参加 2,500人 (計 10,000人)	府有施設（花文・農業公園）の活用による機会創出 民間活力を活かした機会提供 情報発信の強化	府民参加 2,500人 (計 12,500人)

令和6年度 おおさか農政アクションプラン 評価・点検部会

令和5年度の実績について

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

(1) 意欲の高い農業者の経営改善支援

5年後の目標: 育成対象農業者約150名の販売額向上30%(+6億円)

R5目標

経営強化農業者約100名に対し、
販売額向上支援(R4販売額+1.2億円)

R5実績

経営強化農業者129名に対し支援を実施し
販売額向上を実現(R4販売額+1.6億円)

経営強化コンサルプロジェクト事業

農業者へ専門家を派遣し、普及指導員との個別指導で経営課題を解決し販売額向上を支援。

【R5派遣実績】

34者(うち新規7者)

【指導内容】

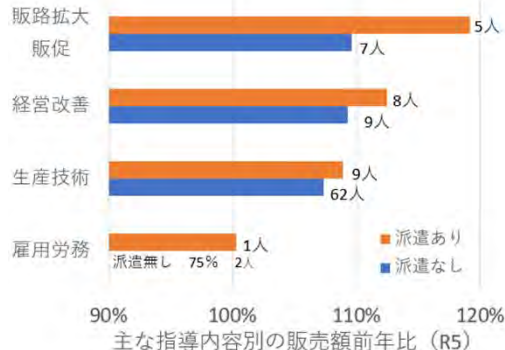
・規模拡大に向けた経営計画の作成
・円滑な事業継承に向けた取組、他



事務所名	育成対象農業者 (経営強化農業者)	販売額増加額 (R5販売額-R4販売額)
北部	11名	1,782万円
中部	35名	5,477万円
南河内	35名	4,176万円
泉州	48名	4,862万円
合計	129名	1億6,297万円

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

育成対象農業者の販売額向上について



特に販売額の増加が大きい農業者の支援事例

- A氏 (1,563万円; 204%) 新規部門の拡大
- B氏 (800万円; 127%) 新規加工品の開発・販売
- C氏 (900万円; 400%) 栽培品目精査、新規販路
- D氏 (550万円; 650%) 生産技術安定化、販路開拓

営農類型別販売額の伸び

露地野菜(有機栽培含む)、果樹(ぶどう)で大きい

コンサル派遣の効果

コンサル派遣を行った農業者は販売金額の伸びがより大きい。

派遣あり 110.1% 派遣無し 105.9%

販売額の伸びが大きい指導内容(コンサル派遣)

- 販路拡大 119.1%
例: 販売計画の作成、PRシートの作成支援
- 経営改善 112.5%
例: 経営分析による栽培品目精査・新規事業の立ち上げ支援

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

(2) 新規就農者・企業の確保育成

5年後の目標: 新規就農者70名の確保と生産力強化(+3億円)

R5目標

新規就農者10名を確保・育成し、生産力を強化(+0.4億円)

大阪産(もん)スタートアカデミー運営事業
大阪の戦略品目を中心とした、地域密着型の新規就農研修プログラム。

【R5受講者】
30名
(いちご6名、有機農産物16名、水なす・きくな8名)
【R5年度に就農したR4年度卒業生】
15名
(いちご6名、有機農産物4名、水なす・きくな5名)



R5実績

新規就農者12名を確保したが、販売実績が目標未達成(+0.13億円)

事務所名	新規就農者	販売額
北部	3名	10万円
中部	1名	770万円
南河内	6名	480万円
泉州	2名	100万円
合計	12名	1,360万円

R4就農者の販売実績は 0.04億円→0.32億円 と伸長が見られることから、引き続き支援を行い実績を伸ばし、5年後目標の+3億円を目指し取り組んでいく。

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

(2) 新規就農者・企業の確保育成

5年後の目標: 新規参入企業30社の確保と生産力強化(+4億円)

R5目標

新規参入企業6社を確保・育成し、
生産力を強化(+0.8億円)



国主催の企業参入セミナー
大阪府ブース様子



府主催セミナー
参入済企業・市町村等へ個別相談

R5実績

新規参入企業2社※を確保、6社に対し
定着支援を実施したが、販売実績が
目標未達成(+0.15億円)

※市町村把握分を含むと15社

参入企業の紹介 (ギャップコーポレーション)

- ・大阪産(もん)スタートアカデミーで研修受講(R3年度)
- ・島本町に参入(R5年5月): 農地貸借
- ・ハウス工事着工(R5年9月)
- ・いちご栽培開始(R5年11月): 苗定植
- ・直売・摘み取り体験開始(R6年3月)



市町村と調整し参入した企業も多く、府は引き続き参入企業の確保に取り組みながらも、
企業の参入後の定着支援にも積極的に取り組み、販売額を向上させていく。

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

(3) マーケットインの発想による重点品目の生産振興

5年後の目標: 大阪産(もん)グローアッププランの目標達成 10.8億円 ⇒ 15.3億円

R5目標

目標金額 12.3億円(+1.5億円)

R5実績

販売額 12.6億円(+1.8億円)

大阪産(もん)グローアッププランの取組

重点品目を設定し、多様な販売戦略と明確な目標を設定

【重点品目】

いちご、えだまめ、なす、しゅんぎく、ぶどうの5品目

【取組事例】

・料理人やインフルエンサー等による高付加価値農産物の評価会の開催

(元来含んでいる機能性も活かした消費形態・商品化等を検討。加えて、インバウンド需要も見据え、海外からの訪日客の嗜好に適したメニュー開発等により万博での利用促進へつなげる。)



事務所名	品目	販売額
北部	いちご	1.4億円 (+0.7億円)
中部	えだまめ	0.34億円 (-0.05億円)
中部・南河内	ぶどう	5.25億円 (+0.79億円)
南河内	なす	2.22億円 (+0.22億円)
泉州	しゅんぎく	3.4億円 (+0.2億円)
合計		12.61億円 (+1.86億円)

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

(4) 成長と持続を支える生産基盤の整備

5年後の目標: 農地集積集約を目的とした基盤整備の面積 56ha

R5目標

整備面積 +11.1ha(計 +24.1ha)

整備地区紹介(牧地区)

事業主体: 大阪府
市 町 村: 豊能町
事業期間: R3～R7
受益者数: 37戸



- ・担い手不足の解消、高収益農業への転換を図るために、16.8haのほ場整備を実施
- ・整備後の農地は地区の主要農家が設立した有限会社是集積・集約し、果樹栽培などの観光農業に取り組む予定

R5実績

整備面積 +12.3ha(計 +18.0ha)

整備地区	整備面積
岸和田丘陵地区	7.3ha
牧地区	5.0ha
合計	12.3ha



事業費の不足等により、用水施設等の整備が遅れているものの、各地区の事業計画に基づき、AP計画期間内での整備完了に向け取り組んでいく

【しごと】 力強い大阪農業の実現 ～成長し、持続する農業へ～

(5) スマート技術導入の推進

5年後の目標: スマート農業技術を導入する農業者 180名 (令和3年度末時点: 95名)

R5目標

導入した農業者 15名

導入事例紹介

機器名: アルスプラウト
品 目: 水なす



- ・温度、湿度、土壌水分、CO2濃度、日射量、ECのデータをモニタリング
- ・導入した農業者間でデータ比較が可能

今年度はぶどう、いちご、水なすにおいてスマート機器導入による効果分析を実施

R5実績

導入した農業者 17名 (導入件数 23件)

機器内容	導入件数	市町村
CO2施肥装置	6件	島本町、茨木市、枚方市、河南町
pFメーター遠隔監視・自動かん水	2件	枚方市、河南町
省力化機器 (ハウス自動開閉器、遠隔温度監視装置、農薬散布ドローン)	11件	島本町、茨木市、枚方市、交野市、八尾市、千早赤坂村、岸和田市
その他	4件	堺市、泉南市
合計	23件	

【くらし】 豊かな食や農に接する機会の充実 ～農を通じた脱炭素社会への貢献～

(1) 大阪産(もん)購入拠点の充実

5年後の目標:大阪産(もん)ロゴマークの申請登録者数 958件⇒1,200件

R5目標

登録者数 60者

大阪産(もん)フェスタ2023の開催

大阪の新しい玄関口であるうめきた周辺で、大阪産(もん)を「食べる」「買う」「楽しむ」体験を提供するイベントを開催

【開催期間】

令和5年5月20日から6月4日

【来場者数】

大阪産(もん)マルシェ
(5月27,28日)25,840人(2日間)



R5実績

登録者数 162者

購入拠点事例

・給仕當田

旬の食材を大阪市中央卸売市場や生産者から直接購入し、料理を提供



【くらし】 豊かな食や農に接する機会の充実 ～農を通じた脱炭素社会への貢献～

(2) 食と農の連携による大阪産(もん)の魅力向上

5年後の目標:農業者と事業者のマッチング数 1,500件(R4-R8累計)

R5目標

マッチング数 380件

展示会での大阪産(もん)ブースの設置

食に関する展示会で大阪産(もん)の特設ブースを設置、マッチング機会の創出を図る。



R5実績

マッチング数 549件

人材研修・展示会	マッチング件数	商談件数
人材育成研修	72件 (18事業者)	—
FOODEX JAPAN in 関西	20件 (1事業者)	1件
FABEX 関西	150件 (2事業者)	20件
FOOD STYLE kansai	300件 (6事業者)	203件
居酒屋JAPAN	7件 (1事業者)	10件
合計	549件	234件

【くらし】豊かな食や農に接する機会の充実 ～農を通じた脱炭素社会への貢献～

(3) 脱炭素社会に貢献する農業生産【参考】

主な取組内容

＜みどりの食料システム法に基づく農業者の認定＞

脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の低減に取り組む農業者の5年間の事業計画を認定し、取組を支援
(活動事例:土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減、温室効果ガスの排出削減など)

＜Osaka AGreen Action＞

生産者・事業者・消費者等が一体的に取り組む府民運動であり、民間企業等のパートナーズと共に取組みを推進



府基本計画での環境負荷低減の最終目標(R8)とR5時点の実績

項目	最終目標(R8)	R5実績
有機農業取組面積	0.6%(74ha)	0.3%(33ha)
有機農業に取り組む新規就農者割合	25%(15人)	6.7%(3人)
有機農業栽培マニュアルの作成	5品目	1品目
Osaka AGreen Action パートナーズ数	100団体	30団体
Osaka AGreen Action 実施箇所数	300箇所	67箇所

SNSやイベントでのPR



脱炭素社会のさらなる推進に向け、有機農業の取組拡大のみではなく、消費拡大に向けて交流会の開催やCFPの表示拡大など、取組み強化を図っていく

【地域】農業・農空間を活かした新たな価値創造～ポストコロナの新たなライフスタイルを実現～

(2) 農を活かした地域づくりの推進【R5は成果指標参考】

5年後の目標:農空間づくり協議会の増加 31(R3)⇒71(R8)

R5目標

協議会設立 8地区

R5実績

協議会設立 3地区

協議会活動事例

○久米田池地区(岸和田市)

- 世界かんがい施設遺産に登録された久米田池を水源とする地域で、農空間多面的機能支払事業を活用し、生産緑地を中心に農地維持活動(ため池や農地法面の草刈り、水路の泥上げ等)、資源向上活動(年2回の久米田池クリーンアップ活動等)を実施



市	地区名
岸和田市	久米田池地区
泉佐野市	上之郷地区
泉南市	男里地区

地域計画策定後も、地域計画の充実・実現に向けた話し合いの中心的役割を担う組織として、農空間づくり協議会設立を推進していく

【地域】農業・農空間を活かした新たな価値創造～ポストコロナの新たなライフスタイルを実現～

(3) 農を知り、農に参加する機会の充実

5年後の目標: 農空間づくりに参加する府民の増加 49,500人(H30) ➡ 62,000人(R8)

R5目標

府民参加 54,500人 (+5,000人)

R5実績

府民参加 43,468人 (R4 +17,149人)

農空間ライフステーション事業

府内で農空間の保全活動を行っている団体の活動の活性化に取り組むとともに、より多くの府民が農にふれる機会を提供

【取組内容】

- ・総合ポータルサイトの作成
- 情報の一元化により、登録団体の活動に関する情報が得られ、参加促進につながる

HOTORI



事業の効果イメージ

令和5年度の取組

取組	人数
府民活動(自走に移行した活動を含む)	33,398人
府有施設での農業体験者	9,866人
民間活力を活かした機会提供	204人
SNSフォロワー数増加【参考】	1,579人
合計	43,468人

来年度の大阪・関西万博を契機として、農空間に多くの府民が関心を寄せ活動に参加いただけるよう、魅力発信や農業体験等の取組みを強化していく。

地域計画策定の取組状況

	策定地区に含まれる集落数	地区数	アンケート調査完了 (1月末時点)		現況地図作成 (1月末時点)		目標地図素案作成 (1月末時点)		協議の場開始 (1月末時点)		協議の場完了※ (1月末時点)		地域計画策定 (1月末時点)	
			地区数	実施率	地区数	実施率	地区数	実施率	地区数	実施率	地区数	実施率	地区数	実施率
北部	153	148	148	100%	148	100%	99	67%	148	100%	148	100%	2	1%
中部	82	42	40	95%	40	95%	22	52%	26	62%	18	43%	3	7%
南河内	172	65	65	100%	65	100%	65	100%	60	92%	59	91%	3	5%
泉州	282	94	94	100%	94	100%	92	98%	94	100%	93	99%	0	0%
合計	689	349	347	99%	347	99%	278	80%	328	94%	318	91%	8	2%

※協議結果のHP未公表を含む

- 地域計画策定済 8地区
(羽曳野市碓井、古市・水守、河原城・埴生野、 柏原市横尾、奥山、円明、 島本町高浜、東大寺)

今後、地域計画の成果をもとに、市町村等と連携して地域の具体的な課題解決方策を提案していくとともに、大阪農業の現状を踏まえた新たな重点施策を検討していく。